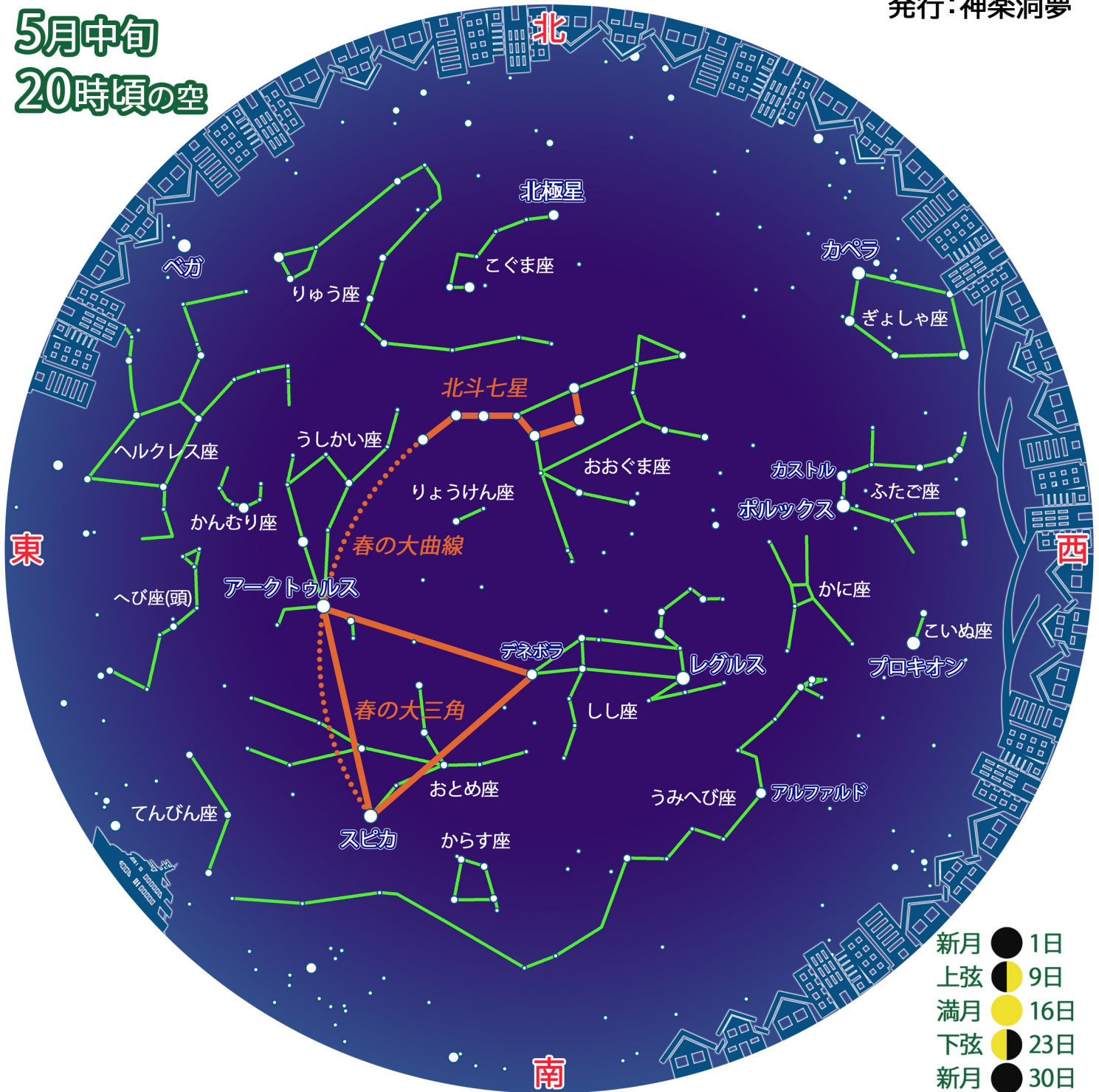


5月中旬
20時頃の空



大型連休で始まる5月の夜空には、大型星座のトップスリーが勢ぞろいします。大きな星座第3位は、しっぽの北斗七星でおなじみの「おおぐま座」、第2位は、真珠のような輝きの1等星スピカが魅力的な「おとめ座」です。堂々の第1位は、西から東へ長い体をくねらせた「うみへび座」です。暗い星々の連なりをたどるのは一苦労ですが、ゆっくりと時間をかけて眺めるうちに、大きな星座がゆったり輝く姿が浮かんでくるかもしれません。

南の夜空に輝く十字架の星

全天88星座の中で一番大きな星座はうみへび座です。
では、一番小さいのはどんな星座でしょう？
それは、「南十字星」の呼び名で知られる「みなみじゅうじ座」です。

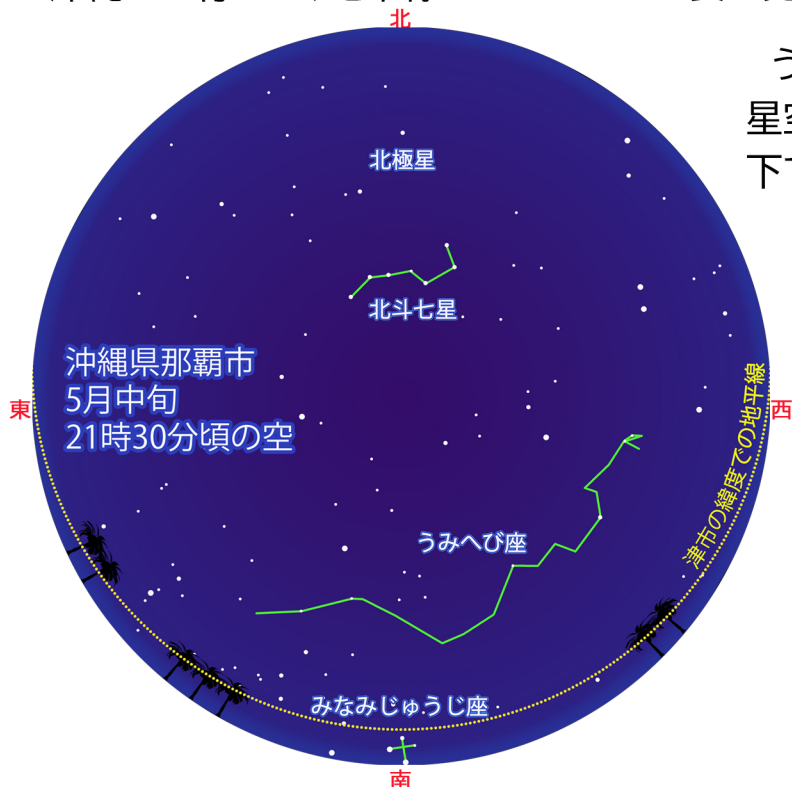
その名の通り、四つの星の並びが小さな十字架のように見える星座で、南の国で見られる憧れの星として有名ですが、日本でも沖縄まで行けば、地平線ぎりぎりにその姿を見ることができます。



うみへび座が南の空に大きな体をひきずって、星空散歩を楽しんでいる頃、本州では地平線の下でみなみじゅうじ座が南中※します。

※南中とは、ある天体が真南にくることを言います。

小さいながらも、1等星を二つ持つ贅沢な輝きは古くから知られており、真南の方向を教えてくれる大切な星でした。



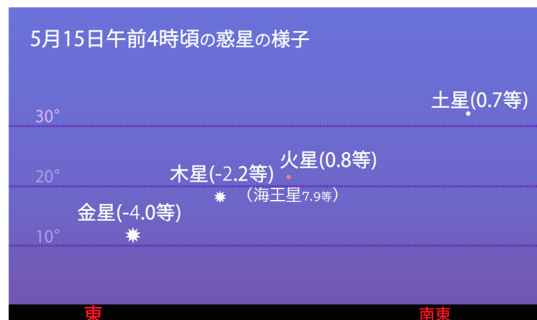
日本では江戸時代、長崎の航海学者、池田好運が著した『元和航海記』に「俱留守(くるす)」の名で記されています。

航海士たちも、旅の無事を願い、星の十字架に祈りを捧げていたのかもしれません。



もう一つの十字架と惑星の輝き

本州でも楽しめる星の十字架、といえば、「北十字」の呼び名もある「はくちょう座」です。近頃は、夜遅く東に姿を見せます。はくちょう座が天高く輝く夜明け前には、東の空に、金星や木星、火星、土星といった惑星があつてにぎやかです。早起きをして楽しんでみてはいかがでしょう。



Okasan Digital Dome Theater
神楽洞夢
KAGURA DOME

〒514-0032 三重県津市中央5-20 岡三証券グループ津ビル4階
http://kagura-dome.jp TEL. 059-221-3121 FAX. 059-226-1565